

第11特科隊新年安全祈願



(発行所)
11特OB会

(連絡先)

札幌市南区
真駒内17番地

第11特科隊
広報援護室
TEL (011)-581-3191
内線2645
(印刷)
メディアコーポ
レーション

▲記念撮影



▲奉酒の様子

隊は、令和八年一月八日(木)真駒内駐屯地において、新年安全祈願を行った。
本行事は、年頭における安全祈願を実施して、事故の絶無と安全意識の徹底を図るとともに、部隊の団結強化及び士気の高揚を図る目的で行われた。
当初、隊長及び各中隊による奉酒を行い、各中隊長による新年の抱負、隊長による年頭の辞等により新年の気持ちを新たにするとともに、一年の安全を祈願した。

主な記事

- 二面 令和七年度山地行動訓練(冬季)等
- 三面 やまぶき会総会・懇親会等
- 四面 幹部任官者・昇任者・転出者・転入者・定年退官者の紹介

令和七年度山地行動訓練（冬季）



▲搬送訓練の様子

隊は、令和八年一月七日（水）から十五日（木）までの間、令和七年度山地行動訓練（冬季）を行った。
本訓練は、冬季の災害時における孤立集落への物資搬送、要救助者搬送及び山地行動に必要な能力の向上を図る目的で行われ、厳しい地形・気象を克服し、必要な技術を修得させることができた。

小樽雪あかりの路 会場造成支援



▲制作中の隊員達

隊は、令和八年二月二日（月）から十四日（土）までの間、小樽市が主催する「第二十八回小樽雪あかりの路」の運営に際し、会場造成を支援した。
本イベントは、市民ボランティアを中心に行われる地域密着型の行事であり、多くの来場者で賑わう小樽の冬の風物詩になっている。
作業期間中は、小樽芸術村会場を中心に、メインステージ、スノーキャンダル設置のための基礎造成および、来場者動線の確保などの作業を実施し、二月七日に主催者側に引き渡した。
雪あかり期間中は、大勢の来場者が訪れ、自衛隊の作業状況をPRするとともに、地域住民の自衛隊に対する理解を深めることができた。

令和七年度予備自衛官招集訓練



▲人員・車両点検の様子



▲体力測定の様子



▲拘束・連行訓練の様子

隊は、令和八年二月二日（木）から三月二日（月）までの間、真駒内駐屯地において、令和七年度予備自衛官招集訓練を実施した。
本訓練は、予備自衛官としての資質を養うとともに、必要な知識及び技能について訓練し、練度の維持を図る目的で行われた。
参加した予備自衛官たちは、真剣な眼差しで各課目に臨むとともに、仲間と声を掛け合い、汗を流しながら練度の維持・向上に努めた。

北後志地区自衛隊入隊予定者激励会



▲入隊予定者8名



▲今年度、特科隊に入隊した隊員による祝辞



▲特科隊員によるラッパ吹奏



▲小樽自衛隊協力会、大川会長による万歳三唱

隊は、令和八年二月十五日（日）小樽市において、北後志地区自衛隊入隊予定者激励会に参加協力した。
激励会では、入隊予定者八名に対し、自衛官の道を選んだことに対する敬意を表するとともに、入隊前の不安を払拭し、かつ、自衛隊家族会との連携の強化を図った。
激励会には、地元選出国會議員はじめ、地域関係者やご家族らが出席し、新たな一歩を踏み出す若者たちの門出を祝った。

令和7年度認定指導官・隊員 初級らっぱ取得者の紹介

栄誉を 称えて

部隊スキー指導官として、
部隊に貢献出来る様に
精進していきます。今
後もよろしく願います。



第1中隊 滝石 1曹

冬季遊撃隊員として、
今後は、各隊員が積雪地
に関わる苦手意識を払拭
し、有意義な訓練が実施
できるよう邁進します。



第1中隊 菅沼 2曹

教官・助教のおかげで、初
級らっぱを取得する事が出来
ました。これからも練度向上
に努めていきます。



本部管理中隊
橋本 1士



第1中隊 村田 1士

部隊スキー指導官

冬季遊撃隊員

初級らっぱ



▲懇親会の様子

令和八年三月
七日(土)ライ
フオート札幌に
おいて、やまぶ
き会総会・懇親
会が行われた。
当初、やまぶ
き会総会が行わ
れ、令和七年度
の決算報告、来
年度の各種行事
等の説明後、懇
親会を実施した。
懇親会では、
来年度の抱負を
一人ずつ述べる
など、終始和や
かに進み、盛会
のうちに懇親会
を終えた。

やまぶき会総会・懇親会

令和七年度自衛官 幹部任官者の紹介



第3中隊 大坂3尉
出身 北海道
趣味 舞台鑑賞

一月昇任者

陸曹長へ
本部管理中隊 三浦 方靖
第三中隊 高木 正浩

一等陸曹へ
本部管理中隊 小谷 洋人
第三中隊 菅原 良介
藤本 宏敬

二等陸曹へ
本部管理中隊 平原 暁
第二中隊 保田 元気
第三中隊 梶原 利紘
三瓶 恵一郎

三月転出者

三等陸曹へ
本部管理中隊 山下 雄大
同 小野 颯太
第二中隊 杉谷 巧人
第三中隊 川浪 元詩
琴乃

隊本部
三等陸佐 愛甲 博之
第七地対艦ミサイル連隊(勝連)へ

一等陸尉 井ノ上 智史
東北方面特科連隊(郡山)へ

一等陸尉 渡邊 丈敦
第七特科連隊(東千歳)へ

一等陸尉 佐藤 弘勝
富士学校(富士)へ

一等陸尉 丹木 秀紀
第十一旅団司令部(真駒内)へ

本部管理中隊 石黒 政紀
第七師団司令部(東千歳)へ

二等陸尉 皆川 学
第七特科連隊(東千歳)へ

准陸尉 澤田 亮
第十一後方支援隊(真駒内)へ

陸曹長 森山 和人
中部方面後方支援隊(出雲)へ

一等陸曹 橋本 政志
補給統制本部(十条)へ

二等陸曹 山川 國明
情報教導隊(富士)へ

二等陸曹 上野 直樹
美唄駐屯地業務隊(美唄)へ

二等陸曹 岡部 力
東部方面特科連隊(宇都宮)へ

第一中隊 柴田 創史
第六師団司令部(神町)へ

陸曹長 釣部 勝
真駒内駐屯地業務隊(真駒内)へ

二等陸曹 阿部 智也
第一陸曹教育隊(東千歳)へ

第三中隊 館山 明紀
陸上幕僚監部装備計画部(市ヶ谷)へ

三月転入者

隊本部
三等陸佐 上田 亮
富士学校(富士)より

一等陸尉 富田 健一
第一特科団(北千歳)より

一等陸尉 花田 弘隆
高等工科学学校(武山)より

本部管理中隊 砂糖元 貴之
第五特科隊(帯広)より

陸准尉 藤下 征男
第一特科団(北千歳)より

陸曹長 石橋 毅
俱知安駐屯地業務隊(俱知安)より

二等陸曹 水越 壮三
装備実験隊(富士)より

二等陸曹 本宮 武
第一一九教育大隊(多賀城)より

三等陸曹 高橋 彩織
第一二〇教育大隊(真駒内)より

第一中隊 石橋 拓也
三等陸佐 北部方面総監部防衛部(札幌)より

陸曹長 穴戸 重彦
真駒内駐屯地業務隊(真駒内)より

第二中隊 佐藤 文昭
第十即応機動連隊(滝川)より

第三中隊 山口 卓也
富士学校付(富士)より

三等陸曹 坪井 真夢
第二十二即応機動連隊(多賀城)より

三等陸曹 坪井 悠祐
第二十二即応機動連隊(多賀城)より

定年退官者



石原曹長
(8.3.15付)



澤村准尉
(8.3.23付)

OBの方へ連絡とお願い

一 入門証について

現在、期限切れの入門書をお持ちの方で今後とも必要とされる方は、更新手続きをお願いいたします。手続きに関しては、「特科隊広報・援護室」にて行います。

電話〇一一五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 船木

二 叙位及び死亡叙勲に関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によりて手続きを進める事になりますが、手続きの期間が限られており、この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなります。万が一ご本人がご逝去された場合は、死亡日を含め五日以内に最寄りの防衛省各機関、部隊等へ連絡下さい。また、ご家族皆様へお伝えいただくようお願い申し上げます。

三 その他

特科隊、隊舎一階において第十一特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室を開設しております。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

電話〇一一五八一―三一九一
(内線二六四五) 担当 天満